

活動状況のお知らせ

3月 活動報告		4月 活動報告		5月 活動報告	
2	木 包括支援センター運営協議会	3	月 10周年実行委員会	1	月 企画運営会議・10周年実行委員会
4	土 ヘルパー研修	6	木 おいで屋一周年お祝い	2	火 森田会計来訪打ち合わせ
6	月 おいで屋世話人会	10	月 ふれあい定例会		おいで屋世話人会
	10周年実行委員会	11	火 運営企画会議・おいで屋世話人会	8	月 ふれあい定例会・企画運営会議
8	水 担当者会議	12	水 担当者会議	9	火 担当者会議
11	土 おいで屋会議	13	木 運営委員会	10	水 鬼崎公民館利用者懇談会
12	日 市支援費説明会	15	土 研修	11	木 運営委員会
13	月 ふれあい定例会・運営企画会議	24	月 ふれあい定例会・10周年実行委員会	13	土 ドライバー研修会
	10周年実行委員会	26	水 市民参画推進懇話会	15	月 10周年実行委員会
16	木 運営委員会		担当者会議	18	木 NPO 法人絆訪問・サポートちた理事会
17	金 森田税理士打ち合わせ				健康日本21連絡会
18	土 研修			19	金 第1回理事会
20	月 10周年実行委員会			22	月 ふれあい定例会・移動ネットあいち総会
22	水 担当者会議・おいで屋世話人会			23	火 交通安全協会総会
28	火 市民参画推進懇話会			25	木 担当者会議
29	水 市社協評議会			26	金 サポートちた総会
30	木 コーディネーター会			27	土 総会
				28	日 健康づくりフェスティバル
				29	月 10周年実行委員会



総会風景



		3月	4月	5月	会員数(6月20日現在)	
		活動時間	1552.75 時間	1348.25 時間	1271.25 時間	正会員
たすけあい活動	利用会員数	81 名	77 名	70 名	賛助会員	150+2(団体)名
	ふれあいハウス参加人数	85 名	99 名	97 名	利用会員	116 名
	ふれあい弁当利用者数	200 名	135 名	105 名	合計	351+2(団体)
介護保険活動	利用時間	1149.75 時間	1108.75 時間	1178.5 時間		
	利用者数	70 名	69 名	65 名		
障がい福祉サービス活動	利用時間	139 時間	128.75 時間	131.75 時間		
支援費活動	利用者数	13 名	14 名	16 名		
	利用者数	480 名	312 名	335 名		



ごあんない

《ふれあいハウスいちば》はたすけあい事業として今まで、火・水・金曜日を利用日としてきました。6月からは月曜日も開催しています。9月からは土曜日も開催する予定です。今後、介護保険法の通所介護・介護予防通所介護事業として10月からの予定での準備期間です。6月からの月曜日もどうぞご利用ください。新年度からのあかりは社会状況を見回して、活動範囲を少し広げます。居宅介護支援事業も力を入れていきますので、どうぞよろしく。

発行
常滑市市場町 1-53
特定非営利活動法人
あかり
責任者 竹田 加津子
TEL/35-4185
FAX/35-6862
http://akari.npo.gr.jp

2006年6月



盛況に終わることができました
ありがとうございました

あかり

あかり10周年記念講演会風景



6月18日、市民文化会館において、あかり10周年記念講演会を開催しました。鎌田さんの人間味あふれるお話、坂田さんのエネルギーいっぱいの演奏と、お二人の軽妙なトーク。黒田さんのピアノも逸品でした。多くの方においでいただきサイン会も大賑わいで、準備の本もCDも売り切れとなり、売り上げはチェルノブイリの基金などに寄付されます。みなさん、ありがとうございました。



おいで屋催し物 ご案内 《月曜～金曜/10時から16時までオープン》

- 展示 故渡辺純治・松下志郎親子絵画展 6月26日(月)～7月21日(金)
- たかはしさだこ陶展と“わんどであそぼ”作品展 7月24日(月)～8月18日(金)
- 子ども陶芸教室“わんどであそぼ” 6月24日(土)
- 参加費 500円 10:00～11:30



10年・そしてこれからも

新代表 竹田 加津子

5月27日、18年度総会を常滑市福祉会館で行うことができました。

皆様のご理解、ご協力ありがとうございました。

あかりが地域たすけあいの会として産声をあげて今年で10年になります。10年前(1996年)はどんな年だったのでしょうか?消費税率5%閣議決定、ペルー日本大使公邸人質事件、若田光一さんスペースシャトルで宇宙へ…あれからもう10年?何だか長いようで短いような10年です。

けれども社会のしくみも私たちをとりまく環境も大きく変化してしまったように思います。

何時でも、健康な人も病める人も老人も子どもも若者も中年も…全ての人の暮らしている地域に大切なのは「困った時はおたがいさま」の気持ちではないでしょうか。

また、あかりの願い「だれもが生きる意欲を持ちながら 安心して暮らせる社会にしたい」のためには、人と人との心のふれあいの中でお互いを大切に思いやる気持ちが育つこと、生きていてよかったという気持ちを実感すること。そして、そんな体験が明日への生きるエネルギーになるように思います。奇しくも介護保険制度の見直しで介護保険法は「尊厳の保持」ということを謳っています。

誰もがいきいきと暮らせる社会の実現のためには、行政と地域の人々の協働できるしくみ作りが今後は不可欠になってくることでしょう。総会後に講演をお願いした常滑市福祉部長の盛田さんからは具体的な福祉施策の解説とともに住民参加への取り組みの必要性についてのお話もありました。そこでは常滑で10年活動してきた「あかり」の役割も大きくなってきています。しかし10年を経て、人材の確保が切実な問題になってきていることも現実です。

平成18年度の新規事業

- ・介護予防訪問介護(ヘルパー派遣)
- ・居宅介護支援(ケアプラン作成など)
- ・「ふれあいハウスいちば」が介護保険法の通所介護・介護予防通所介護事業としての準備中(助け合い事業としても継続)

また支援費制度は障害者自立支援法に基づく障害福祉サービスとなります。

「街かどサロンおいで屋」は1周年を過ぎ「倶楽部・ギャラリー・催し物」と、活動を展開しながらゆっくり過ごせるサロンとして地域に根ざす活動を目指します。今後ともよろしく願いいたします。

ヘルパー研修を行ないました

6月17日、鬼崎公民館において、日福大・中央福祉専門学校の高木先生をお迎えして、食事、誤嚥予防、口腔ケアの介護実習を行いました。毎日当然のようにしている「食事の動作」をスライスするように検証してみました。たとえば、感覚・知覚・認知・運動機能に分け、何ができるかを把握することが自立支援につながることを学びました。

起床時、口の中が粘ついたり口臭を感じるのは就寝中の唾液分泌が減少しているからで、「唾液は口腔ケアのエース」と教えられました。

大きな口をあけて、他人に歯を磨いてもらうのは「はずかしい」でも、意外に「気持ちいい」体験でした。



賛助会員

相武 喜久雄	片岡 比沙子	関 せつ子	野田 吉彦	皆川 道代
相武 好子	片山 さち子	関 夫美子	花ざかり	村上 眞喜子
赤井 恵子	亀岡 正子	関 八重次	浜嶋 充子	村上 ミヨ子
赤坂 孔子	岸田 輝久	曾我 日出子	林 笑子	村川 齒科
家坂 錬子	木下 和子	鷹津医院	坂野 幸枝	村瀬 重広
石井 美津代	木又 信子	田上 光大	久田 幸枝	森下 吉子
石井 よし子	吉良 留美子	瀧田医院	肥田 志げ	守山 文子
石川 ふく	久保田 久代	竹内 志き	肥田 晴都子	八木 政子
石田 彰子	鯉江 郁雄	竹内 千鶴子	肥田 美重子	山下 圭一
磯村 正子	鯉江 すみ子	竹内内科	肥田 美智子	山下 のり子
磯村 たかみ	鯉江 つね子	竹内 バレー団	平野 ちほ	山田 哲男
市田 貞子	鯉江 よし子	竹内 みさゑ	藤井 悦子	山田 よし子
伊藤 重子	小島 圭重子	田代 安子	藤井 茂	横井 さは子
伊藤 志づ江	後藤 かず子	谷川 一平	藤井 すゞ江	吉川 秀子
伊藤 伸子	後藤 朋子	谷川 嬉余子	藤井 忠三	吉川 光江
伊藤 真理子	後藤 澆子	辻 寿美子	藤井 富子	吉本 典代
伊藤 礼子	小西 桂子	都築 春子	藤森 峰子	米倉 すみ子
伊奈 節子	権田 久佐代	都築 豊	古川 たみ子	和田 恵美子
伊奈 伯子	近藤 栄子	中井 頼子	堀本 節二	渡辺 恵津子
伊奈 正夫	斉田 玲	永井 寿美子	本多 房枝	吉本 典代
伊奈 征枝	斉田 修代	中島 愛子	前川 文代	渡辺 千代子
今津 美千代	酒井 三代子	中島 富美子	前島 小夜子	渡辺 安正
岩田 照巳	佐藤 節子	中谷 伊津子	前田 千恵子	渡辺 幸子
宇藤 菊洋	佐野 年治	中野 芳平	前田 久子	伊藤 勇吉
宇藤 けい子	澤田 三枝子	長洞 トシメ	松田 経子	中村 幸代
生方 俊	柴田 弘子	中村 雅子	間宮 ふく江	堀井 みね
浦杉 志津江	柴田 弘美	中村 かおる	三浦 ルミ子	《賛助団体》
岡本 一子	杉江 志な子	中村 くに枝	三浦 万代	さざんかの丘
柿田 奈津江	杉江 千寿子	名波 秀子	水上 健	むらさき野苑
片岡 園子	杉江 典子	庭瀬 健太郎	水野 典子	
片岡 登志枝	杉山 和美	庭瀬 はるみ	水野 美代子	【順不同・敬称略】

皆様の温かいご支援が「あかり」を支えます。ありがとうございました。

総会風景

5月28日、市の体育館で、H16年度にあかりが行なったシニアボランティア講座から発展してできた“健康づくり連絡会”がフェスティバルを行ないました。市内の健康づくりに関心のある

“親子体操の会”や“市健康づくり食生活改善協議会”などの自主グループ13が参加して行なわれました。あかりのふれあいが「トンカラリン体操」と「指体操」を披露したら好評で、あとからお問い合わせが来たほどでした。

